

② 省エネ活動組織の設置状況

表 3-2. 病院種類別にみた省エネ活動組織の設置状況

	18年度以前に組織を設置	19年度に組織を設置	組織を設置せずに取組	今後組織を設置予定	今後も組織を設置しない	取組んでいない	無回答	合計
一般病院	104 (11.4%)	53 (5.8%)	404 (44.1%)	98 (10.7%)	31 (3.4%)	214 (23.4%)	12 (1.3%)	916 (100.0%)
特定機能病院	11 (91.7%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)
精神科病院	15 (5.1%)	7 (2.4%)	140 (47.5%)	40 (13.6%)	10 (3.4%)	81 (27.5%)	2 (0.7%)	295 (100.0%)
合計	130 (10.6%)	60 (4.9%)	545 (44.6%)	138 (11.3%)	41 (3.4%)	295 (24.1%)	14 (1.1%)	1,223 (100.0%)

表 3-3. 病院規模別にみた省エネ活動組織の設置状況

	18年度以前に組織を設置	19年度に組織を設置	組織を設置せずに取組	今後組織を設置予定	今後も組織を設置しない	取組んでいない	無回答	合計
4,000 m ² 未満	3 (2.0%)	4 (2.6%)	50 (33.1%)	27 (17.9%)	10 (6.6%)	54 (35.8%)	3 (2.0%)	151 (100.0%)
4,000～5,999 m ²	5 (3.6%)	4 (2.9%)	70 (51.1%)	9 (6.6%)	4 (2.9%)	45 (32.8%)	0 (0.0%)	137 (100.0%)
6,000～7,999 m ²	6 (4.0%)	7 (4.7%)	78 (52.3%)	14 (9.4%)	4 (2.7%)	39 (26.2%)	1 (0.7%)	149 (100.0%)
8,000～9,999 m ²	4 (2.9%)	4 (2.9%)	62 (45.6%)	14 (10.3%)	4 (2.9%)	45 (33.1%)	3 (2.2%)	136 (100.0%)
10,000～19,999 m ²	36 (9.4%)	12 (3.1%)	188 (48.8%)	43 (11.2%)	14 (3.6%)	89 (23.1%)	3 (0.8%)	385 (100.0%)
20,000～29,999 m ²	20 (15.2%)	11 (8.3%)	59 (44.7%)	23 (17.4%)	3 (2.3%)	15 (11.4%)	1 (0.8%)	132 (100.0%)
30,000～39,999 m ²	13 (24.1%)	9 (16.7%)	20 (37.0%)	4 (7.4%)	1 (1.9%)	5 (9.3%)	2 (3.7%)	54 (100.0%)
40,000～49,999 m ²	5 (31.3%)	3 (18.8%)	7 (43.8%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (100.0%)
50,000 m ² 以上	36 (67.9%)	6 (11.3%)	9 (17.0%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	53 (100.0%)
面積不明	2 (20.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%)	1 (10.0%)	10 (100.0%)
合計	130 (10.6%)	60 (4.9%)	545 (44.6%)	138 (11.3%)	41 (3.4%)	295 (24.1%)	14 (1.1%)	1,223 (100.0%)

③ 省エネ報告提出別にみた省エネルギー推進体制の状況

表 3-4. 省エネ報告提出別にみた省エネルギー推進体制の取り組み状況

	18年度以前に組織を設置	19年度に組織を設置	組織を設置しないが取組んでいる	今後組織を設置予定	今後も組織を設置しない	取組んでいない	無回答	合計
第一種提出	40	9	20	4	0	0	1	74
第二種提出	30	15	49	17	2	9	0	122
(小計)	70 (35.7%)	24 (12.2%)	69 (35.2%)	21 (10.7%)	2 (1.0%)	9 (4.6%)	1 (0.5%)	196 (100.0%)
提出なし	42	23	311	72	28	188	5	669
提出不明	5	9	85	26	6	54	2	187
(小計)	47 (5.5%)	32 (3.7%)	396 (46.3%)	98 (11.4%)	34 (4.0%)	242 (28.3%)	7 (0.8%)	856 (100.0%)
無回答	13	4	80	19	5	44	6	171
合計	130 (10.6%)	60 (4.9%)	545 (44.6%)	138 (11.3%)	41 (3.4%)	295 (24.1%)	14 (1.1%)	1,223 (100.0%)

④ エネルギー消費量削減目標の設定および実行計画の策定状況

表 3-5. 病院規模別にみたエネルギー削減目標の設定及び実行状況

	削減の目標設定及び実行	削減の目標設定及び実行予定	削減の目標設定及び実行していない	合計
4,000 m ² 未満	8 (5.8%)	23 (16.7%)	107 (77.5%)	138 (100.0%)
4,000～5,999 m ²	10 (7.6%)	17 (13.0%)	104 (79.4%)	131 (100.0%)
6,000～7,999 m ²	6 (4.3%)	29 (20.7%)	105 (75.0%)	140 (100.0%)
8,000～9,999 m ²	1 (0.8%)	29 (22.8%)	97 (76.4%)	127 (100.0%)
10,000～19,999 m ²	41 (11.5%)	64 (17.9%)	252 (70.6%)	357 (100.0%)
20,000～29,999 m ²	43 (33.6%)	34 (26.6%)	51 (39.8%)	128 (100.0%)
30,000～39,999 m ²	26 (49.1%)	13 (24.5%)	14 (26.4%)	53 (100.0%)
40,000～49,999 m ²	10 (62.5%)	3 (18.8%)	3 (18.8%)	16 (100.0%)
50,000 m ² 以上	41 (78.8%)	4 (7.7%)	7 (13.5%)	52 (100.0%)
面積不明	0 (0.0%)	1 (11.1%)	8 (88.9%)	9 (100.0%)
合計	186 (16.2%)	217 (18.9%)	748 (65.0%)	1,151 (100.0%)

注：合計の 1,151 件は、全回答 1,223 件から無回答 72 件を除いた件数。

⑤ 今後1年間のエネルギー消費量削減率の設定状況

表3-6. 病院規模別にみた今後1年間のエネルギー消費量削減率の設定状況

	病院数	目標削減率 (%/年)
4000 m ² 未満	6	7.2
4000～5999 m ²	8	6.4
6000～7999 m ²	5	9.2
8000～9999 m ²	1	5.0
10000～19999 m ²	34	4.5
20000～29999 m ²	37	2.4
30000～39999 m ²	23	1.7
40000～49999 m ²	9	2.0
50000 m ² 以上	39	1.1
合計／平均	162	3.0

注：合計の162件は、表3-4で「削減の目標設定及び実行」している186件のうち回答のあったもの。

⑥ 「組織を設置しての省エネルギー活動」に取り組まない理由

表 3-7. 病院規模別にみた「組織を設置しての省エネルギー活動」に取り組まない理由（複数回答）

	1 把握・評価困難	2 意義が理解不可	3 取り組み方不明	4 省エネ情報が複雑	5 省エネ費用捻出困難	6 病院内で賛同無	7 専門的人材が不在	8 機能と省エネは矛盾	9 関心が少ない	10 その他	総数
4,000 m ² 未満	7 (11.1%)	2 (3.2%)	19 (30.2%)	19 (30.2%)	24 (38.1%)	5 (7.9%)	34 (54.0%)	21 (33.3%)	16 (25.4%)	3 (4.8%)	63 (100.0%)
4,000～5,999 m ²	5 (10.9%)	4 (8.7%)	11 (23.9%)	10 (21.7%)	18 (39.1%)	5 (10.9%)	24 (52.2%)	11 (23.9%)	16 (34.8%)	1 (2.2%)	46 (100.0%)
6,000～7,999 m ²	5 (12.2%)	1 (2.4%)	5 (12.2%)	6 (14.6%)	15 (36.6%)	6 (14.6%)	22 (53.7%)	13 (31.7%)	14 (34.1%)	3 (7.3%)	41 (100.0%)
8,000～9,999 m ²	7 (14.3%)	1 (2.0%)	10 (20.4%)	12 (24.5%)	32 (65.3%)	8 (16.3%)	26 (53.1%)	22 (44.9%)	12 (24.5%)	5 (10.2%)	49 (100.0%)
10,000～19,999 m ²	12 (11.9%)	2 (2.0%)	17 (16.8%)	25 (24.8%)	36 (35.6%)	10 (9.9%)	45 (44.6%)	35 (34.7%)	33 (32.7%)	5 (5.0%)	101 (100.0%)
20,000～29,999 m ²	1 (5.6%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	4 (22.2%)	7 (38.9%)	4 (22.2%)	8 (44.4%)	6 (33.3%)	4 (22.2%)	2 (11.1%)	18 (100.0%)
30,000～39,999 m ²	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	4 (66.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	6 (100.0%)
40,000～49,999 m ²	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
50,000 m ² 以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
面積不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	2 (50.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)
合計	37 (11.3%)	11 (3.4%)	63 (19.2%)	78 (23.8%)	136 (41.5%)	40 (12.2%)	162 (49.4%)	113 (34.5%)	99 (30.2%)	20 (6.1%)	328 (100.0%)

注：省エネ活動に取り組んでいない病院が336件あり（表3-2の「今後も組織を設置しない」「取り組んでいない」の計）、

合計の328件はそのうち無回答8件を除いたもの。

表3-8. 項目別病院規模別にみた「組織を設置しての省エネルギー活動」に取り組まない理由（複数回答）

	1 困難把握・評価	2 不可意義が理解	3 不明取り組み方	4 が複雑省エネ情報	5 捻出省エネ費用	6 同無病院内で贅	7 が不在専門的人材	8 ネは矛盾機能と省工	9 い関心が少な
4,000 m ² 未満	7 (18.9%)	2 (18.2%)	19 (30.6%)	19 (25.0%)	24 (17.9%)	5 (12.8%)	34 (21.1%)	21 (18.8%)	16 (16.2%)
4,000～5,999 m ²	5 (13.5%)	4 (36.4%)	11 (17.7%)	10 (13.2%)	18 (13.4%)	5 (12.8%)	24 (14.9%)	11 (9.8%)	16 (16.2%)
6,000～7,999 m ²	5 (13.5%)	1 (9.1%)	5 (8.1%)	6 (7.9%)	15 (11.2%)	6 (15.4%)	22 (13.7%)	13 (11.6%)	14 (14.1%)
8,000～9,999 m ²	7 (18.9%)	1 (9.1%)	10 (16.1%)	12 (15.8%)	32 (23.9%)	8 (20.5%)	26 (16.1%)	22 (19.6%)	12 (12.1%)
10,000～19,999 m ²	12 (32.4%)	2 (18.2%)	17 (27.4%)	25 (32.9%)	36 (26.9%)	10 (25.6%)	45 (28.0%)	35 (31.3%)	33 (33.3%)
20,000～29,999 m ²	1 (2.7%)	1 (9.1%)	0 (0.0%)	4 (5.3%)	7 (5.2%)	4 (10.3%)	8 (5.0%)	6 (5.4%)	4 (4.0%)
30,000～39,999 m ²	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (1.5%)	1 (2.6%)	2 (1.2%)	4 (3.6%)	4 (4.0%)
40,000～49,999 m ²	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
50,000 m ² 以上	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
面積不明	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (1.6%)	2 (2.6%)	2 (1.5%)	1 (2.6%)	1 (0.6%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)
合計	37 (100.0%)	11 (100.0%)	62 (100.0%)	76 (100.0%)	134 (100.0%)	39 (100.0%)	161 (100.0%)	112 (100.0%)	99 (100.0%)

(2) 「病院における省エネルギー実施要領」についての認知状況

表3-9. 厚生労働省の「病院における省エネルギー実施要領」についての認知

	良く知っている	ある程度知っている	聞いたことはある	全く知らない	わからぬい	無回答	合計
一般病院	32 (3.5%)	186 (20.3%)	458 (50.0%)	158 (17.2%)	55 (6.0%)	27 (2.9%)	916 (100.0%)
特定機能病院	1 (8.3%)	9 (75.0%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)
精神科病院	1 (0.3%)	45 (15.3%)	164 (55.6%)	57 (19.3%)	17 (5.8%)	11 (3.7%)	295 (100.0%)
合計	34 (2.8%)	240 (19.6%)	624 (51.0%)	215 (17.6%)	72 (5.9%)	38 (3.1%)	1,223 (100.0%)

4. 省エネ措置を伴う大規模修繕工事の状況

過去5年間に省エネ措置を伴う大規模修繕工事（新築・増築・改築）を行った病院は215病院（17.6%）、「行なっていない」病院は959病院（78.4%）であった（表4-1）。

増改築工事の内容は、「空調設備の更新」が最も番多く56.4%、次いで「照明設備の更新」が39.2%、「給湯設備の更新」が37.3%となっている（表4-4）。

空調・衛生設備等でのエネルギー転換工事に関して（回答は357病院）、転換工事を「行った」病院は266病院（74.5%）あり、88病院（24.6%）が転換工事を「行なっていない」（表4-5）。

エネルギー転換工事の実施理由は、「エネルギー機器の老朽化」（55.8%）、「エネルギー費用削減」（53.1%）、「エネルギー使用量の削減」（36.8%）等である（表4-6）。

エネルギー転換工事の内容（回答は236病院）は、「重油からガス」（28.8%）、「重油から電気」（18.6%）、「ガスから電気」（14.8%）、「灯油からガス」（9.7%）、「電気からガス」（7.6%）の順となっている（表4-7）。

（1）過去5年間のエネルギー消費に影響する建築・設備工事の状況 (2003～2007年度)

① 病院種類別にみた大規模修繕工事の実施状況

表4-1. 病院種類別にみた大規模修繕工事（新築・増築・改修）の実施状況

	行った	行っていない	わからない	無回答	合計
一般病院	154 (16.8%)	726 (79.3%)	22 (2.4%)	14 (1.5%)	916 (100.0%)
特定機能病院	5 (41.7%)	7 (58.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	12 (100.0%)
精神科病院	56 (19.0%)	226 (76.6%)	11 (3.7%)	2 (0.7%)	295 (100.0%)
合計	215 (17.6%)	959 (78.4%)	33 (2.7%)	16 (1.3%)	1,223 (100.0%)

② 報告届出別にみた大規模修繕工事の実施状況

表 4-2. 省エネ報告提出別にみた大規模修繕工事（新築・増築・改修）の実施状況

	行った	行っていない	わからない	無回答	合計
第1種提出	33	40	1	0	74
第2種提出	29	93	0	0	122
(小計)	62 (31.6%)	133 (67.9%)	1 (0.5%)	0 (0.0%)	196 (100.0%)
提出なし	95	555	12	7	669
提出不明	33	138	13	3	187
(小計)	128 (15.0%)	693 (81.0%)	25 (2.9%)	10 (1.2%)	856 (100.0%)
無回答	25	133	7	6	171
合計	215 (17.6%)	959 (78.4%)	33 (2.7%)	16 (1.3%)	1,223 (100.0%)

⑦ 病院規模別にみた大規模修繕工事の実施状況

表 4-3. 病院規模別にみた大規模修繕工事（新築・増築・改修）の実施状況

	行った	行ってない	わからない	無回答	合計
4,000 m ² 未満	14 (9.3%)	129 (85.4%)	2 (1.3%)	6 (4.0%)	151 (100.0%)
4,000～5,999 m ²	14 (10.2%)	117 (85.4%)	6 (4.4%)	0 (0.0%)	137 (100.0%)
6,000～7,999 m ²	16 (10.7%)	126 (84.6%)	5 (3.4%)	2 (1.3%)	149 (100.0%)
8,000～9,999 m ²	23 (16.9%)	108 (79.4%)	5 (3.7%)	0 (0.0%)	136 (100.0%)
10,000～19,999 m ²	72 (18.7%)	295 (76.6%)	14 (3.6%)	4 (1.0%)	385 (100.0%)
20,000～29,999 m ²	30 (22.7%)	99 (75.0%)	1 (0.8%)	2 (1.5%)	132 (100.0%)
30,000～39,999 m ²	14 (25.9%)	39 (72.2%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)	54 (100.0%)
40,000～49,999 m ²	3 (18.8%)	13 (81.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (100.0%)
50,000 m ² 以上	27 (50.9%)	26 (49.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	53 (100.0%)
面積不明	2 (20.0%)	7 (70.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	10 (100.0%)
合計	215 (17.6%)	959 (78.4%)	33 (2.7%)	16 (1.3%)	1,223 (100.0%)

④ 増築・改修の工事内容

表 4-4. 病院規模別にみた増築・改修の内容（複数回答）

	の改修工事 屋根、床、壁	新空調設備の更	新換気設備の更	新照明設備の更	新給湯設備の更	昇降機の更新	新変電設備の更	その他	総数
4,000 m ² 未満	5 (38.5%)	8 (61.5%)	4 (30.8%)	4 (30.8%)	6 (46.2%)	3 (23.1%)	5 (38.5%)	4 (30.8%)	13 (100.0%)
4,000～5,999 m ²	5 (38.5%)	6 (46.2%)	4 (30.8%)	5 (38.5%)	5 (38.5%)	3 (23.1%)	3 (23.1%)	8 (61.5%)	13 (100.0%)
6,000～7,999 m ²	4 (26.7%)	7 (46.7%)	2 (13.3%)	3 (20.0%)	5 (33.3%)	3 (20.0%)	4 (26.7%)	6 (40.0%)	15 (100.0%)
8,000～9,999 m ²	7 (30.4%)	16 (69.6%)	6 (26.1%)	9 (39.1%)	10 (43.5%)	5 (21.7%)	6 (26.1%)	11 (47.8%)	23 (100.0%)
10,000～19,999 m ²	25 (35.7%)	39 (55.7%)	22 (31.4%)	27 (38.6%)	27 (38.6%)	22 (31.4%)	17 (24.3%)	35 (50.0%)	70 (100.0%)
20,000～29,999 m ²	8 (27.6%)	16 (55.2%)	11 (37.9%)	12 (41.4%)	12 (41.4%)	8 (27.6%)	8 (27.6%)	14 (48.3%)	29 (100.0%)
30,000～39,999 m ²	2 (15.4%)	6 (46.2%)	5 (38.5%)	6 (46.2%)	5 (38.5%)	2 (15.4%)	4 (30.8%)	6 (46.2%)	13 (100.0%)
40,000～49,999 m ²	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
50,000 m ² 以上	4 (16.0%)	16 (64.0%)	5 (20.0%)	12 (48.0%)	6 (24.0%)	6 (24.0%)	7 (28.0%)	10 (40.0%)	25 (100.0%)
面積不明	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)
合計	61 (29.9%)	115 (56.4%)	59 (28.9%)	80 (39.2%)	76 (37.3%)	52 (25.5%)	54 (26.5%)	94 (46.1%)	204 (100.0%)

注：合計の 204 件は、大規模修繕工事を行った病院 215 件（表 4-3）のうち無回答 11 件を除いたもの。

⑤ エネルギー転換工事の有無

表 4-5. 病院規模別にみた空調・衛生設備等のエネルギー源のエネルギー転換工事の実施の有無

	行った	行っていない	わからない	合計
4,000 m ² 未満	19 (70.4%)	8 (29.6%)	0 (0.0%)	27 (100.0%)
4,000～5,999 m ²	20 (71.4%)	7 (25.0%)	1 (3.6%)	28 (100.0%)
6,000～7,999 m ²	27 (93.1%)	2 (6.9%)	0 (0.0%)	29 (100.0%)
8,000～9,999 m ²	24 (70.6%)	10 (29.4%)	0 (0.0%)	34 (100.0%)
10,000～19,999 m ²	101 (76.5%)	30 (22.7%)	1 (0.8%)	132 (100.0%)
20,000～29,999 m ²	36 (78.3%)	10 (21.7%)	0 (0.0%)	46 (100.0%)
30,000～39,999 m ²	14 (63.6%)	8 (36.4%)	0 (0.0%)	22 (100.0%)
40,000～49,999 m ²	4 (66.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)
50,000 m ² 以上	19 (65.5%)	10 (34.5%)	0 (0.0%)	29 (100.0%)
無回答	2 (50.0%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	4 (100.0%)
合計	266 (74.5%)	88 (24.6%)	3 (0.8%)	357 (100.0%)

注：合計の 357 件は、大規模修繕工事を行った病院 215 件（表 4-3）のうち無回答の 10 件を除き、さらに大規模転換工事を行っていなくともエネルギー転換工事に関して回答した病院 52 件を加えたもの。

⑥ エネルギー転換工事を行った理由

表 4-6. 病院規模別にみたエネルギー転換を行った理由（複数回答）

	エネルギー効率化により使用量削減	エネルギー費用削減	エネルギー機器の老朽化	需要増によるエネルギー供給増大	需要減によるエネルギー効率的供給	その他	総数
4,000 m ² 未満	5 (29.4%)	8 (47.1%)	13 (76.5%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	17 (100.0%)
4,000～5,999 m ²	5 (25.0%)	9 (45.0%)	11 (55.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (20.0%)	20 (100.0%)
6,000～7,999 m ²	10 (37.0%)	14 (51.9%)	14 (51.9%)	2 (7.4%)	0 (0.0%)	3 (11.1%)	27 (100.0%)
8,000～9,999 m ²	6 (26.1%)	13 (56.5%)	11 (47.8%)	2 (8.7%)	0 (0.0%)	3 (13.0%)	23 (100.0%)
10,000～19,999 m ²	35 (35.7%)	50 (51.0%)	57 (58.2%)	11 (11.2%)	2 (2.0%)	18 (18.4%)	98 (100.0%)
20,000～29,999 m ²	12 (34.3%)	19 (54.3%)	20 (57.1%)	5 (14.3%)	1 (2.9%)	8 (22.9%)	35 (100.0%)
30,000～39,999 m ²	9 (64.3%)	11 (78.6%)	6 (42.9%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	14 (100.0%)
40,000～49,999 m ²	2 (50.0%)	4 (100.0%)	3 (75.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)	4 (100.0%)
50,000 m ² 以上	11 (61.1%)	8 (44.4%)	9 (50.0%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	6 (33.3%)	18 (100.0%)
面積不明	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	2 (100.0%)
合計	95 (36.8%)	137 (53.1%)	144 (55.8%)	22 (8.5%)	4 (1.6%)	45 (17.4%)	258 (100.0%)

注：合計の 258 件は、エネルギー転換工事を行った病院 266 件（表 4-5）のうち無回答 8 件を除いたもの。

⑦ エネルギー転換工事の内容

表 4-7. エネルギー転換工事の内容

	重油→ガス	重油→電気	ガス→電気	灯油→ガス	重油→ガス・電気	電気→ガス	その他	合計
4,000 m ² 未満	5 (29.4%)	5 (29.4%)	2 (11.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	4 (23.5%)	17 (100.0%)
4,000～5,999 m ²	4 (22.2%)	0 (0.0%)	4 (22.2%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	3 (16.7%)	5 (27.8%)	18 (100.0%)
6,000～7,999 m ²	4 (15.4%)	2 (7.7%)	4 (15.4%)	3 (11.5%)	1 (3.8%)	4 (15.4%)	8 (30.8%)	26 (100.0%)
8,000～9,999 m ²	3 (14.3%)	5 (23.8%)	6 (28.6%)	2 (9.5%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)	21 (100.0%)
10,000～19,999 m ²	20 (23.3%)	20 (23.3%)	15 (17.4%)	8 (9.3%)	6 (7.0%)	6 (7.0%)	11 (12.8%)	86 (100.0%)
20,000～29,999 m ²	14 (42.4%)	4 (12.1%)	2 (6.1%)	6 (18.2%)	1 (3.0%)	1 (3.0%)	5 (15.2%)	33 (100.0%)
30,000～39,999 m ²	6 (46.2%)	4 (30.8%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	0 (0.0%)	1 (7.7%)	1 (7.7%)	13 (100.0%)
40,000～49,999 m ²	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
50,000 m ² 以上	9 (50.0%)	4 (22.2%)	2 (11.1%)	1 (5.6%)	1 (5.6%)	0 (0.0%)	1 (5.6%)	18 (100.0%)
面積不明	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)
合計	68 (28.8%)	44 (18.6%)	35 (14.8%)	23 (9.7%)	10 (4.2%)	18 (7.6%)	38 (16.1%)	236 (100.0%)

注：合計の 236 件は、エネルギー転換工事を行った病院 266 件（表 4-5）のうち無回答 30 件を除いたもの。

(2) 今年度以降のエネルギー消費に影響する建築・設備工事等について
(2008～2012年度)

2008年度から2012年度までに「増改築工事の予定がある」病院は203病院(16.6%)で、「増改築工事の予定なし」が515病院(42.1%)、「未定」が486病院(39.7%)となっている(表4-8)。

① 病院種類別にみた2012年度までの増改築工事の実施予定の有無

表4-8. 病院種類別にみた2012年度までの増改築工事実施予定の有無

	ある	ない	未定	無回答	合計
一般病院	147 (16.0%)	389 (42.5%)	364 (39.7%)	16 (1.7%)	916 (100.0%)
特定機能病院	7 (58.3%)	1 (8.3%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	12 (100.0%)
精神科病院	49 (16.6%)	125 (42.4%)	119 (40.3%)	2 (0.7%)	295 (100.0%)
合計	203 (16.6%)	515 (42.1%)	486 (39.7%)	19 (1.6%)	1,223 (100.0%)

5. 運営面の省エネ活動

現在実施中の省エネ活動（身近に取組みやすい省エネ活動）は、「定期的にフィルター清掃」（96.8%）、「使用時間に合わせて照明点灯」（83.4%）、「照明器具の清掃、管球の交換」（78.0%）、「夜間・中間期は空調運転を停止」（77.2%）など空調、照明関連が上位となった（図5-1）。

現在未定の省エネ活動（省エネ効果は高いが、実施に検討や費用・期間が必要なものが多い）は、「省エネ関連の認証取得」（35.8%）、「建築面から冷暖房負荷を低減」（35.4%）、「外壁に断熱塗料吹付け」（34.9%）、「太陽熱利用の促進」（33.1%）などが多くあげられている。そしてこれらに次いで「太陽光発電の利用」（30.3%）が多くあげられていることは注目される。（図5-2）

(1) 現在行っている省エネ活動・地球温暖化対策状況

図 5-1. 省エネ活動の実施状況 1（「実施中」が多い項目順）

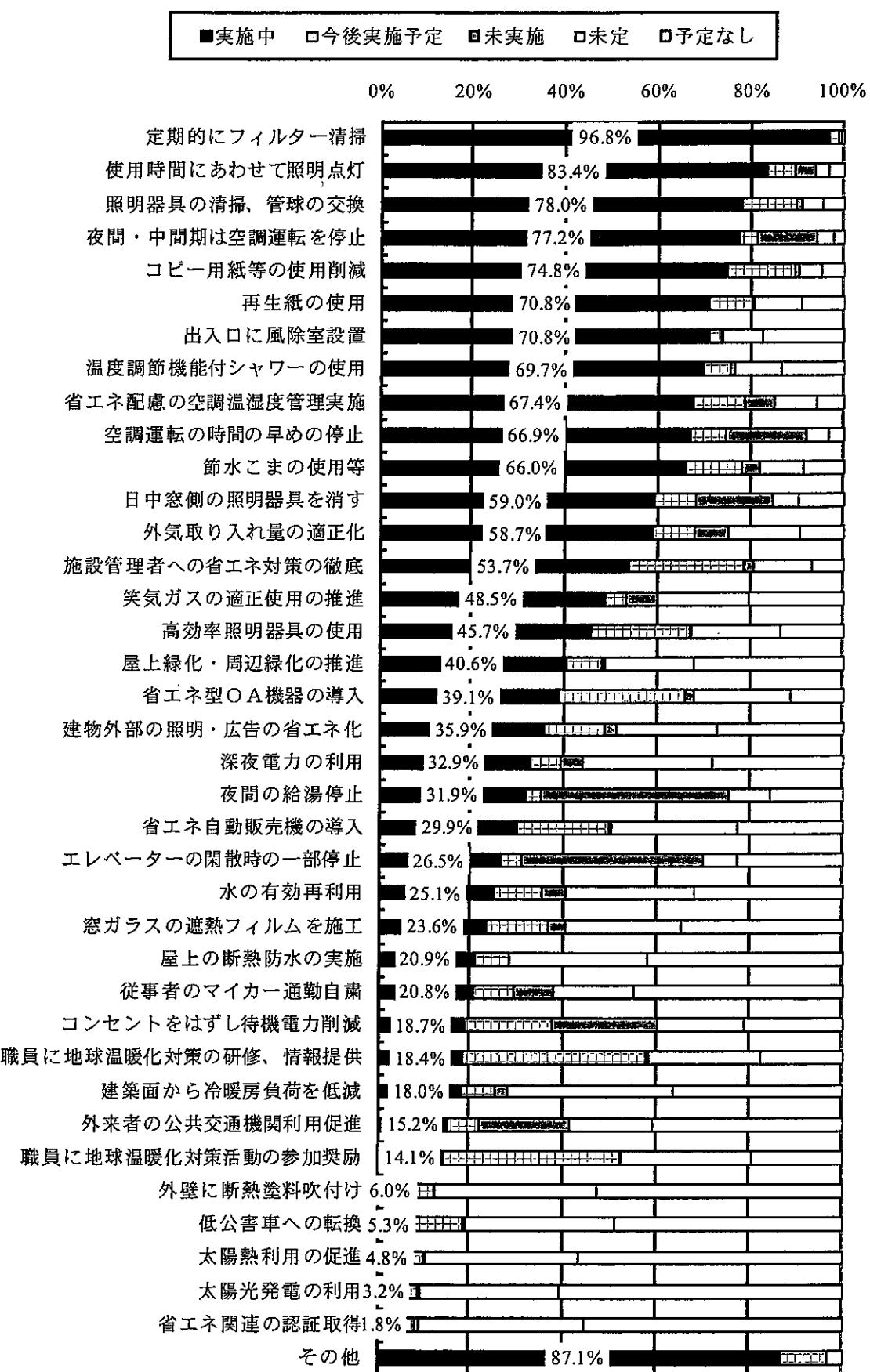
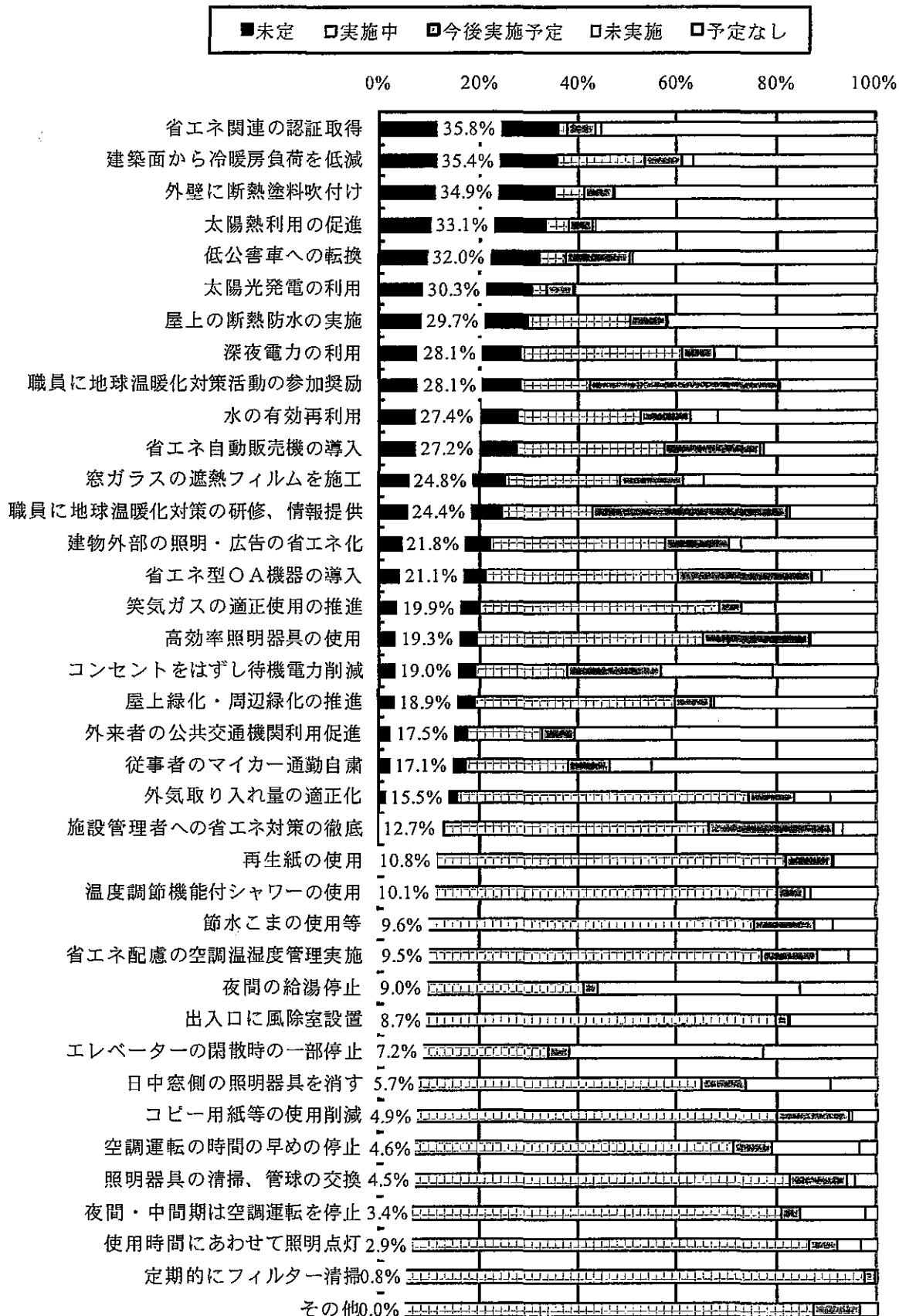


図 5-2. 省エネ活動の実施状況 2（「未定」が多い項目順）



6. 省エネルギー活動や地球温暖化対策推進の課題

改正省エネ法に関する認知の状況は、全体では「聞いたことはあるが詳しく知らない」が47.8%、「よく知っている」及び「ある程度知っている」が23.8%、「まったく知らない」が20.0%であった。一方規模別に見ると、規模が大きいほど認知度が高まり、50,000 m²以上の大病院では「よく知っている」及び「ある程度知っている」が94.4%となっている（表6-1）。

運営する他の施設については全体の82.4%が何らかの回答をしている。他に運営する施設としては、「病院」（42.9%）、「介護老人保健施設」（32.5%）、「寮、社宅」（33.7%）、「診療所」（21.7%）、「グループホーム」（19.1%）、「保育園」（19.1%）、「在宅介護支援センター」（18.6%）となっている（表6-2）。

省エネ活動や地球温暖化対策に必要とされることとして、「診療報酬への配慮」（54.7%）、「省エネ投資等の費用対効果の情報提供」（51.4%）、「税制への配慮」（47.6%）、「先進事例の紹介」（40.8%）などが上位にあげられた。また、「電力会社・ガス会社等の省エネ・温暖化対策についての積極的協力」（39.6%）、「省エネ投資・温暖化対策投資の補助金、低利融資等の創設」（33.6%）、「国の省エネ・温暖化対策についての積極的協力」（32.4%）もこれらに次いで多くあげられた（表6-3）。

省エネ活動・地球温暖化対策のための融資制度については、「よく整備されている」及び「ある程度整備されている」が24.9%を占めるも、融資制度の必要性に関し「積極的に整備すべき」及び「整備すべき」が54.1%と過半に達する一方、「あまり整備しなくてもよい」及び「整備する必要はない」はわずか0.4%にとどまっていた（表6-4、5）。

（1）改正省エネ法の認知

表6-1. 病院規模別にみた改正省エネ法に関する認知の状況

	良く知っている	ある程度知っている	聞いたことはある	全く知らない	わからぬ	無回答	合計
4,000 m ² 未満	2 (1.3%)	13 (8.6%)	81 (53.6%)	43 (28.5%)	7 (4.6%)	5 (3.3%)	151 (100.0%)
4,000～5,999 m ²	0 (0.0%)	12 (8.8%)	74 (54.0%)	35 (25.5%)	11 (8.0%)	5 (3.6%)	137 (100.0%)
6,000～7,999 m ²	1 (0.7%)	12 (8.1%)	80 (53.7%)	41 (27.5%)	9 (6.0%)	6 (4.0%)	149 (100.0%)
8,000～9,999 m ²	1 (0.7%)	12 (8.8%)	74 (54.4%)	37 (27.2%)	10 (7.4%)	2 (1.5%)	136 (100.0%)
10,000～19,999 m ²	7 (1.8%)	75 (19.5%)	200 (51.9%)	69 (17.9%)	27 (7.0%)	7 (1.8%)	385 (100.0%)
20,000～29,999 m ²	17 (12.9%)	43 (32.6%)	52 (39.4%)	12 (9.1%)	5 (3.8%)	3 (2.3%)	132 (100.0%)
30,000～39,999 m ²	11 (20.4%)	24 (44.4%)	13 (24.1%)	3 (5.6%)	0 (0.0%)	3 (5.6%)	54 (100.0%)
40,000～49,999 m ²	3 (18.8%)	7 (43.8%)	6 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	16 (100.0%)
50,000 m ² 以上	24 (45.3%)	26 (49.1%)	1 (1.9%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	53 (100.0%)
面積不明	0 (0.0%)	1 (10.0%)	4 (40.0%)	3 (30.0%)	0 (0.0%)	2 (20.0%)	10 (100.0%)
合計	66 (5.4%)	225 (18.4%)	585 (47.8%)	245 (20.0%)	69 (5.6%)	33 (2.7%)	1,223 (100.0%)

(2) 運営する他の医療・介護関連施設

表 6-2. 病院種類別にみた運営施設の状況（複数回答）

	一般病院	特定機能病院	精神科病院	合計
病院	402 (43.9%)	8 (66.7%)	115 (39.0%)	525 (42.9%)
診療所	206 (22.5%)	2 (16.7%)	57 (19.3%)	265 (21.7%)
検診センター	196 (21.4%)	2 (16.7%)	8 (2.7%)	206 (16.8%)
臨床検診センター	36 (3.9%)	1 (8.3%)	2 (0.7%)	39 (3.2%)
看護学校	127 (13.9%)	6 (50.0%)	17 (5.8%)	150 (12.3%)
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	76 (8.3%)	0 (0.0%)	17 (5.8%)	93 (7.6%)
介護老人保健施設	310 (33.8%)	1 (8.3%)	87 (29.5%)	398 (32.5%)
特定施設入居者生活介護施設	13 (1.4%)	0 (0.0%)	5 (1.7%)	18 (1.5%)
グループホーム	101 (11.0%)	0 (0.0%)	133 (45.1%)	234 (19.1%)
小規模多機能型居宅介護	34 (3.7%)	0 (0.0%)	9 (3.1%)	43 (3.5%)
地域包括支援センター	100 (10.9%)	0 (0.0%)	49 (16.6%)	149 (12.2%)
在宅介護支援センター	190 (20.7%)	0 (0.0%)	38 (12.9%)	228 (18.6%)
寮、社宅	312 (34.1%)	6 (50.0%)	94 (31.9%)	412 (33.7%)
保育園	194 (21.2%)	2 (16.7%)	37 (12.5%)	233 (19.1%)
事務所(医師会館等を含む)	66 (7.2%)	3 (25.0%)	8 (2.7%)	77 (6.3%)
その他施設	113 (12.3%)	1 (8.3%)	54 (18.3%)	168 (13.7%)
無回答	159 (17.4%)	1 (8.3%)	55 (18.6%)	215 (17.6%)
総数	916 (100.0%)	12 (100.0%)	295 (100.0%)	1,223 (100.0%)

注：「運営する他の医療・介護関連施設」とは、病院を運営する事業者（法人等）が一括して運営している施設で、改正省エネ法の届出の必要の可能性がある施設。